

# 木 通 信 も れ 日

Komorebi Tushin

## 第39号

平成22年1月  
つきだて花工房発  
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺塚7  
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887  
つきだて交流館もりもの TEL024(571)1777 FAX024(571)1787  
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)  
つきだて花工房ホームページ <http://t-hanakobo.jp/>

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと  
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

### 花のアルバム

アートパームの  
3Bページ  
ウメ

梅の花が咲きほころべば  
その年は豊作:  
いつか そんな話をきいた  
馥郁たる香り  
膨らむつぼみ  
梅の精霊が自然界に  
魔法をかけてしまうのかも



新しい春に甘くいい香りを届けてくれるのは梅の花。「春告白」、「風待草」「好文本」などの異名を持つ、かつては「この花」と呼ばれるほど、あこがれがよせられた花本です。万葉集で梅を詠んだ歌は、萩に次いで2番目に多く、花見も桜ではなく梅見のことでした。日本人の暮らしと密接に結びついている梅は、古来より装飾の模様や家紋に使われ、絵画の題材や工芸品の文様にも存在感を示しています。観賞用としても用いられ、新年の松竹梅なども、そのひとつ。風雪や厳しい寒さに耐えて緑を保つ松と竹、他の植物に先駆けて花開く梅が、吉祥の象徴とされてきました。

門松づくり体験に参加された門松づくし(梁川町在住)の作品。後藤さん(梁川町在住)が描いた松竹梅が掲載されました。



門松づくり体験に参加された門松づくし(梁川町在住)の作品。  
後藤さん(梁川町在住)が描いた松竹梅が掲載されました。

梅は中国原産、バラ科サクラ属の落葉高木。奈良時代以前に、中國から生木ではなく薬用として渡来しました。未成熟の実を煙で黒く焼し乾燥させた烏梅(うばい)は、遣唐使が持帰ったと言われる漢方薬。腹痛、食あたり、慢性の咳、頭痛、風邪などに薬効があり、民間薬としても重宝されています。梅干の酸っぱさのもとになつて、いるクエン酸は疲労回復に効果があることから、「梅はその日の難逃れ」という言葉があるほど、朝の食卓には欠かせない食品でした。

い  
い 塩梅(あんぽい)

ほどよい加減をさす言葉として用いられる「塩梅」。本来は塩と梅酢を合わせた調味料を意味し、「えんぱい」と読まれていました。やがて食物の味を整えること、味加減そのものとも言うようになり、また、からだや天気の具合も指すようになりました。日常生活のバランスを微妙に表現している、大切にしたい日本語です。

前回まで書いたように、旧暦は実際の季節に寄り添うように進んでいく暦です。二十四節氣や雜節といつた季節の区切りだけでなく、今が旧暦のどのあたりにあるのかがわかると、「なんで今頃?」といった気象状況も、案外納得できる場合があるのです。

私たち日本人は長い長い時間、稻作を中心とした農を生活の基礎として暮らしてきました。明治以降今なお、多くの日本人が土を離れて、離れようとしてあくせくしています。上を離れた生活の中で、季節は単に暑い寒いを繰り返す現象に過ぎないのかもしれません。しかし、人間が人間である以上、自然から隔絶して生きることはできません。

人工照明が溢れる都会で、旧暦を刻んでいる月は、その存在すら忘れ去られているようです。一度、田舎の月夜を味わってみませんか? その青白い光は、それをながめる人の影を、くっきりと地面に映し出します。そして、そんな田舎では、旧暦と寄り添う暮らしが息づいています。

# はじまりの朝

凛とした空気の冬の朝  
自然界の織り成す  
神秘的な風景に心を傾け  
一日の始まりに感謝します  
行く年も 来る年も  
ふるさとの朝が  
静かに 平和に  
はじまりますように



つきだて花工房から日の出を望む

## お食い初め



杏那ちゃんのお祝い(月館町)



晃我くんのお祝い(月館町)

地域によって習慣が違いますが、「百日(ももか)の祝い」とも言われるお食い初めは、生後百日目にわが子が一生食べ物に困らないようにと願い、初めて箸を使って食事をする儀式のこと。赤ちゃんが男の子なら男性、女の子なら女性の長老が「養い親」として食べさせるまねをします。

つきだて花工房では、

●ごはん(食べ物に困らないように) ●小石(歯固めとして) ●梅干(しわを長寿にみたてて) を祝い膳としてご準備し、ご家族と共に祝いをさせていただいています。

福島市出身で、今年生誕百歳を迎えた古閑裕而さんの「高原列車は行く」をはじめ、心温まる名曲の数々を披露してくださいました。ふと、わが町、月館小学校の校歌が古閑先生の作曲であったことを思い出しました。

もある阿部先生の指揮のもと、美しいハーモニーが聴こえてきます。なかなか響きがいいと、会場も気に入っていただけたようです。「コーランボ」は町特産の「あんぽ柿」から名づけられたもので、あんぽ柿に吹く白粉のように、共に白髪が生えるまで大好きな歌を歌つてゆこうという想いが込められています。



▲一貫張り体验

古いザルやカゴに古紙を貼り、柿渋を塗って仕上げます。講師は福島市の渡辺恵美子さん。みなさん、思い思いの紙を娘や娘の名前をとつて「一貫張り」とも、「貫日の重さ」にも耐えるから「一貫張り」とも言われます。講師は福島市の渡辺恵美子さん。みなさん、思い思いの紙を娘や娘の名前をとつて「一貫張り」とも、「貫日の重さ」にも耐えました。

## heart to heart

二階堂さん(月館町)  
12月22日の冬至に先駆けて  
柚子を飾るようにと、バイクに  
積んでもってきてくれました。



## キッズスマイル



香菜子ちゃん・美羽ちゃん  
お母さんがしめ縫づくりをして  
いる間、ロビーで仲良く読書



合唱団のみなさま (梁川町)

梁川町で40年以上活動を継続されている「混声合唱団・コーランボ」のみなさんが、つきだて花工房にお出かけくださいました。

山越え 谷越え  
はるばると  
ララララ ララ  
ララララララ  
高原列車は  
ラララララ  
行くよ♪  
(昭和29年) 作詞  
丘野至夫  
作曲  
古閑裕而

## 歌声高らかに

はるばる埼玉県から、うどん打ちの研修にいらつしやいました。かの地でも小友の生産とうどん打ちは盛んなようでも、講師を務めた小山さん(和食処「正伍郎」と話が弾んでいました)。



▲朝霞法人会様

## ご案内

- 梅見月会席膳のご案内 2月17日(水)・18日(木)・19日(金)の3日間 時間/18:00~21:00 料金/5,000円(税込み) ご予約数/1日6組30名様まで
- 年末年始の営業 12月30日(水)は18時で閉館 12月31日(木)・1月1日(金)は入浴のみ営業(10時~18時)
- 1月の休館日 1月12日(火)~15日(金)、26日(火)

# Kenちゃんが歩いた Furusato no komichi

連載  
20回目



▲女神山

## 女神山へ

いよいよ冬本番。外は時々雪も飛んだりします。寒いときはコタツが一番ですが、たまには里山に登つてみましょうか。今回はある意味、月館を象徴する山、女神山へ。

上手渡の「フラワーステーション」からスタート。今では珍しくなった桑畑を右手に見ながら、冬枯れの田園風景の中を登ります。途中、月宮神社で道中の無事をお祈り。ここはウサギが神の使いとされています。炭窯を左手に見て更に登つていくと、「女神山登山口」の標柱があります。ここからが山道鬱蒼と茂る杉林を登つしていくと、川俣町側からの登山道と合流。ここからは落葉樹林ですが、今は伐採されています。だんだん急になっていく登山道は、途中から赤土とゴツゴツした火山岩が混じります。

火山活動のなごりでしょうか。春にはカタクリの花が咲き乱れる林を抜けるともうすぐ頂上。この辺りに養蚕、製糸、機織を広めたと伝えられている小手姫様が祀られています。頂上からは七ツ森の尾根が間近に、他にも靈山や川俣の花塚山、遠く藏王連峰や吾妻山などが見渡せます。

了いたします。長らくご愛読いただきありがとうございました。

## モノ作りびとフェア



焼き物、木工品、織物…さまざまな手づくりクラフトの作家さんが集合した、福島県北地方初のクラフト展。月館町在住のクラフト作家、「工房ゆあさ」の湯浅寿夫さんと「工房空とぶくじら」の三森修一さんの発案で実施の運びとなりました。人出は今ひとつでしたが、「是非、またやりましょう!」と、みなさん、意気昂奮でした。



## 晩秋に贈る小さな朗読会 #8

当日は冷たい雨が降る中、2回公演で200名を越えるお客様がご来場くださいました。

毎回テーマを持ってお贈りしている朗読会、今年は「絆」をテーマに掲げて、島岡氏率いる強力キャストが、優しいメロディー、楽しいタップダンス、美しい歌声を届けてくれました。メイン作品、O・ヘンリーの短編小説「二十年後」と「賢者の贈り物」では、グッと落ち着いた大人の世界を、島岡氏の朗読でお贈りできたと思っています。つきだて花工房リーディングアラウドの会も、チャレンジの年となりました。メロスを演じた千葉由紀がメンバーを引っ張り、高度な作品(走れメロス)に体当たりのステージでした。

今年もつきだて花工房スタッフが総力を挙げてお贈りした手づくりの朗読会。いかがでしたでしょうか? 全編を通して、お越しくださったみなさまの心のどこかに、「絆」の一文字が刻み込まれたとしたら、うれしく思います。



キャストとつきだて花工房リーディングアラウドの会のメンバー

### ♪心わからちあえる

あなたが きみがいるから  
明日への希望を抱ける  
目には見えない  
きずな というシルクの糸  
ひとたび 結びあえば  
たくましく やさしく  
甘い香りを放つ♪

テーマ曲「絆」より

### 季節の一品

## 大根のひき菜炒り

### ひき菜炒りについて

大根、油揚げで甘辛く味をつけた福島県の県北地方の郷土料理です。

基本は、大根と油揚げのみ。それに入参やこんにゃくなどを加えることもあります。ふだんのおかずとしてもたびたび食卓に上り、この中に餅をからめ、「ひき菜もち」にして晴れの日の食にもなります。昔は、大根のおいしい季節になると、作りたまり(味噌の上にたまる液)を入れて味をつけたのが始まりと言われています。



### 〈材料〉4人前

◆大根…1/3本 ◆入参…1/4本 ◆油揚げ…1枚 ◆赤唐辛子…適量 ◆A調味料(酒30cc 砂糖少々 醤油80cc みりん30cc 胡麻油適量)

### 〈作り方〉

1. 大根、入参は短冊切りにする。
2. 大根はさっと湯通し、水にさらす
3. 油揚げは湯通してから短冊切りにする。
4. 鍋に油をひき、赤唐辛子、大根、入参、油揚げをいれ、火が通るまでいためる。
5. Aの調味料を加え、炒め煮にし、仕上げに胡麻油を加え自然に冷ます。

### ポイント

\*大根は湯通した方が大根の辛味が抜け、味が付けやすい。  
\*仕上げにお好みで胡麻油を入れるとさらに香りが引き立つ。

【身近な樹木】サザンカ：ツバキ科の常緑小高木で日本原産。山茶花の読みがなまってサザンカになったとか。秋から冬の花のない時期に咲く、貴重な花木。花は香りが良い。花工房でも生垣に使われているので、その香りを是非、お試しあれ。

陽だまりに包まれて  
過ごす時間

花工房BGM

シェークスピアの戯曲のための音楽

花工房  
ライブラリー

星のような物語(星野道夫)

## 体験しながら

## つきだて花工房に泊まろう



この冬は食体験が盛りだくさん！  
体験日時が決まっている  
プログラム

### ●韓国家庭料理とキムチ作り

1月20日(水)・2月10日(水) 2,500円

### ●うどん打ち

1月23日(土)・2月13日(土) 1,000円

### ●豆腐作り

2月6日(土)・3月6日(土) 1,000円

### ●こんにゃく作り

1月30日(土)・2月27日(土) 800円

### ●水餃子作り

3月7日(日) 1,000円

### ●ぼた餅作り

3月20日(土) 1,000円

※詳細は交流館もりもりまでお問い合わせを  
TEL.024-571-1777

- 人数 二名から  
●所要時間 約二時間三十分  
●体験料 八〇〇円(布持参)  
●予約 3月1日(月)

緩やかに流れる時間が、いつ  
そうゆつたりと感じられるシ  
ズンがやってきました。  
冬の陽だまり、団炉裏のぬ  
くもりを感じながら、グルー  
プで、個人で、宿泊しながらの  
里山体験はいかがでしょう？  
そこにはきっと、忘れかけ  
ていた素朴な豊かさが見つか  
るはず…。

### 布ぞうりを編もう

(要予約)

古布が、おしゃ  
れなぞうりに蘇ります。自分用の次  
には、プレゼント用と、夢中になる体  
験かも…

●人数 二名から  
●所要時間 約三時間  
●体験料 一〇〇〇円  
●予約 3月1日(月)

### 竹のクラフト

(要予約)

小鳥の声で目覚めるつきだて花工房  
の朝。手づくりの笛を持って森に入り、  
小鳥と交信できたら、うれしさ一〇〇倍。

●人数 一名から  
●所要時間 約三十分  
●体験料 五百〇円  
●予約 3月1日(月)



### 田舎風うどんづくり

(要予約)

月舎産小麦、キヌアズマを使用して手  
打ちうどん作りに挑戦 和気あいあいの  
時間が流れます。

## 体験プログラム 参加者募集

会員制の体験プログラムの参加者を  
募集します。

畑仕事をやってみたい方大募集！  
三年制の野菜作り体験プログラムで、  
現在五組の皆さんのが野菜作りの樂し  
さを満喫しています。今回の募集定  
員は一組。年会費と年間十回程度の  
授業日には指導料が必要となります。  
作った人だけが味わえるおいしさを、  
一緒に味わってみませんか？

ノラ学校



シルバー作品展で  
見つけたウコン

＊ウコンとハルウコンは姿形  
はよく似ていますが、薬効に  
大きな違いがあるので気を  
つけて！

### おもしろ食材

り前の食材、  
味噌や小麦粉  
を、種から作  
てみませんか？  
額に汗して体  
を動かす楽し  
きや、作物が  
実を結び、味  
噌やうどんに  
生れ変わっていく喜びを一度味わ  
たら、やみつきになるかも？ 味噌  
作りでは四キロの味噌(オブション  
で八キロまで増量可)を、うどん作り  
では自分で打つたうどんの他に1キ  
ロの小麦粉(キヌアズマ)を持ち帰る  
ことが出来ます。

### 畠から始める味噌作り うどん作り

木もれび39号プレゼント

### 空とぶくじら 「干支組木」を 5名様にプレゼント

木もれび39号プレゼント

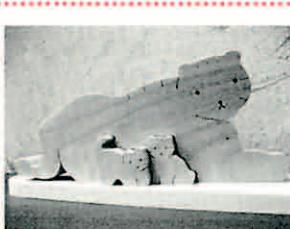
### 編集後記

## お便りコーナー

●阿武急むかし語りに語り部として  
出て、つきだて花工房に宿泊しま  
した。「木もれ日通信」を拝読、花工  
房の環境と同じようにホーリーとし  
ます色々なイベントがあるよう  
で美味しいこのような環境でじつ  
くり昔話を語りたいと思いました。  
機会があったら、妻と再訪したい  
です。奥羽山中に育った私は、やわ  
らかい阿武隈山地がやさしいと感  
じました。(高橋はじめ様 秋田県)  
花 恵まれた職場環境に、いつの  
日も感謝です。何も語らないふる  
さとの風景に、懐されたり、勇気を  
もらったりしています。

●本もれ日通信の、やさしい、  
心にしみる文章が好きです。  
虫眼鏡を片手に写真の中に  
懐かしい顔を見つけたりし  
て楽しんでいます。三十八号  
では安孫子先生の元気な顔  
を見つけました。ほつとする  
時間をいただいています。

(斎藤せい子様・月誌編集  
からのお便りをお待ち  
しております。)



空とぶくじら「干支組木」  
38号プレゼント当選者

古川広子様(京都市)

須崎法子様(静岡県)

までお送りください。平成22年1月  
31日の消印まで有効です。

ご記入いただいた個人情報をつ  
きだて花工房が責任をもつて管理、  
お送りする

保管し当館

のご案内を

お送りする

ほか、サト

ビス向上の

ために利用

させていた

だきます

年こそ今年の失敗を生かし、と年末恒  
例の決心をかためておりますが、鬼に  
笑われてしまいそうですが、鬼に  
に暮らせることに感謝です。月の館に  
住もう私は、元旦の夜が満月!と知つ  
て勇気が沸いてきたという單純な性格  
の私が、新しい年とみなさんの心  
をやさしく照らし、良い一年となりま  
すように。

(鷹治)

まっさらな手帖を手にして、新しい

年こそ今年の失敗を生かし、と年末恒

例の決心をかためておりますが、鬼に

笑われてしまいそうですが、鬼に

に暮らせることに感謝です。月の館に

住もう私は、元旦の夜が満月!と知つ

て勇気が沸いてきたという單純な性格

の私が、新しい年とみなさんの心

をやさしく照らし、良い一年となりま

すように。

月の明かりで疲れた  
心を癒したい。  
いますぐカレンダーにチェック!!

【満月の夜】

1月1日(金)  
3月1日(月)

1月30日(土)

【新月の夜】

1月15日(金)  
3月16日(火)

2月14日(日)

木もれ日通信39号  
読書プレゼント  
応募券